

養正書局  
十

7多9  
694  
411



門ヲ9  
義  
卷



茶抄書 雖為同門不許他見 淡齋秘藏

一 竹茶抄ハ開山周徳ト云者削初羽瀨秀廣ニ傳テ削来  
ルト和泉卓ニモアリテ珠光以前ト云ハ昔ハ所ハズ  
一 茶抄削ラントスル時先竹ヲ下板イタニ銅子ニ十目モ漬  
置テ取出シ燈火一筋ニテ曲ケ申ム曲可申ト存ル所ヲ裏  
表ヨリ火ヲ遠クシテアフリ心泳ニ曲ケ申ム危角ハ子夕  
カリム故曲リ目ノ所極メテ些ハ子ハク先止メテ且ニテシテ  
乾タル先兩船ヲ子ニ削リ板ヘ當テタメ支ヨリ見先  
ヲ削又炭火ニテタメテメノカヘラ又様ニ水ニツケテ拭  
乾カシ節下角ニ大フリニ削リテ様子ヲ見次分ニ削テ  
ホソメル也節下ノ角ニ當流心持アリ削方秘傳ハ末ニ

委細記通也

一 石別公茶抄ハ白竹也遠加公ハ齋リ花竹ヲ用ヒ玉フニヨリ園公ハ白竹ニナサレタルト傳來也

一 石別公茶抄ハタメ下丸ミヨリ下肉落カヲヨシトス云

一 茶抄目利第一二竹ノ年数ヲ見次ニ年数ノ竹ニテ後削リ花所ヲ可考抄ニテ古シタルアリウルニタメテ古シタルアリ濃ニテ古シタルアリ

一 茶抄見ル時手ヲ向ヘ出シ特見先ヨリ見ル石別流ハ勿論諸ノ茶抄皮目ノ方我花ノ方折合下リテ見ユルモノ也コレヨキ也又手ヲ跡ヘツカヒ節裏切苗其外習ノ所々ヲ見ル一也

一 船慮ト云有裏見先ヨリ六七分下船慮ノ様ニ角アリ

一 石別面取茶抄ト云稀ニアリ船慮ノ氣味之石別公正作吉田源之助及ニテ見

タレ之印所持ハ酒井日影所作也

### 極秘事傳授

貝先トキニ改アメリトカウ又極ニスル為氏云折合花右ヨリ小カメヲ入ルカハメノ我カ花

ノ方ヲ少シフカク取右ハ浅クトル丸マケニテ曲ヨリ見先マケ口傳スル通りヲ不可忘四分六分ノツモリニテヨシ

節裏ツリアケスクニ切苗ニチカヒアリツリアケハ切苗ヲ四分六分スクハ切苗ノ方モスクナリ

タメ下丸クシハアリタメ下ヨリアメリ節シメウツリ節シメウツリ右同極ニコレナク

小刀目花右ニアリウツリハ切苗四分六分は目ノ方逆植切苗ヲ直ニ

ニカレ尾今四分六分ニ取タルモアリ大口口推テ柄云切苗ハ逆植水極クリアケ真ノカニイナリ折合折合ニタルハ四分六分不取折合ノナキハ四角六分ト云節皮目ノ方柄之カツコウ知者ノケツリタルヲ

左右兩脚直ニケツリムラナクケツル裏ノ花右切苗メ上ニ細ツキム極ニ小刀割リ目有片々右ハ少ク花ハ長クスル茶抄見

カスリガタ トキニ既ノ皮目ノ方ヲ云目ニタ、又  
格ニケツリニ皮ヒキカニラスヨシ

茶抄長サ五目十目又十目半又十二目又十二目半又

十三目又十三目半也 長キハ十四目上十二目ノトキタトハ六節ヨリ  
上六節下七節ハ皮好  
ヨシ

利休兩判色ト云一秘中ノ秘

裏三節上左ノ方ニ節一スシ節下ニ右ノ方ニ節一節有リヨ云

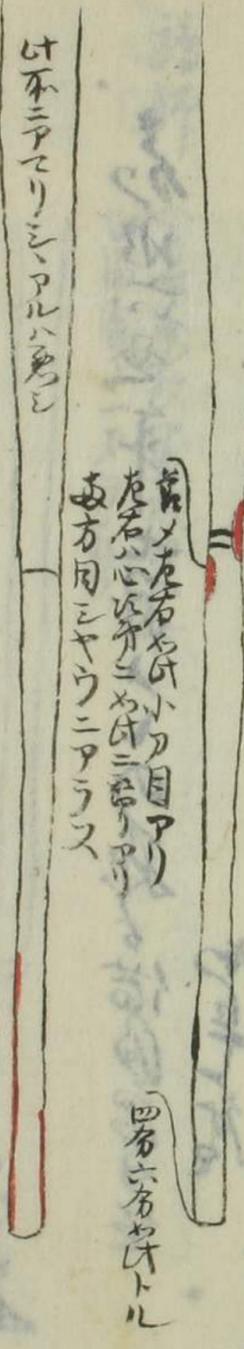
茶抄ノ装方



小刀目一折ニテモ二折ニテモ有之ヲ傳授ノ茶抄ト云古人ハ  
申ニ不及傳授有之茶抄ハ何モ右ノ下至極幽ニアリ

一 虚実軒是書ノ内茶抄傳コノ不<sub>レ</sub>入表具花入モ其所<sub>レ</sub>へ  
可入

林  
ノ  
ノ  
ノ  
ノ



付不<sub>レ</sub>アセリニマルハ也

前ノ左若ヤ小刀目アリ  
左若ハ心込ヤニヤハニヤアリ  
右方同ニヤウニアラス

四若六若ヤトル

左若ヤ小刀目アリ

六分寸長ノ四若六分ニ非ス格好ノ也



逆竹皮目ノ方節ノ上ニ  
小刀目大カイヤハニカシ  
竹ニヨルヘシ

竹皮目ノ方付不  
カスリ方皮ヲカ  
トルト子ハ皮後所  
ナトニカル

竹身ノ方打合ヤ研た<sub>レ</sub>ヲ後ク右ヲ添ク  
トル皮目ノ方ヨリ手ヲノベスカシハ  
たリノ方ヒク見ユ小指ト云一傳アリ

右ノ繪圖ニテ見カタキニ本ノ茶扱ニ朱ヲ加ヘ置  
右秘中之秘也死後火中同門タリト云ヘ斥不許  
他見者也  
村士淡齋記

ノ菴八拜  
宗無極  
七曲居  
宗清

嘉永六年七月ノ一の孫を借留の字を

有祿  
省祿

茶扱目利お徳信臨小娘

鴉片  
を長茶扱は茶扱ハ  
切留茶一カヲ存ス

易師  
比先既中取小茶扱  
を半茶扱長茶扱掃之席上太後目一カヲ存ス

安師  
比先折合三ノ列々又左右キワヲ三々化モノ  
小瓶ノ一箇割かるや出まら

蒲生

比先大ツリニテ先ノ比先ハ長シカ  
合群ノ中モヒロシ中肉ニテ繁ク

細川

比先并合ニテ角ニキ不立比先ニ合群肉並多  
多クニテ和カシ多ク十三日

牧村

比先ニ公ニ似テ短シ中肉ニテ小振

古田

比先体厚ニ似テ長シ中肉並有テ字ニ多ク  
比先体厚ニ似テ長シ中肉並有テ字ニ多ク  
比先体厚ニ似テ長シ中肉並有テ字ニ多ク  
比先体厚ニ似テ長シ中肉並有テ字ニ多ク

淡田

比先世ニシテ大フリニ薄割上体ニ又小振モアリ

合妻

比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク

比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク  
比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク  
比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク  
比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク

小川

比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク

桑山

比先并合ニテ角ニキ不立中肉ニテ繁ク

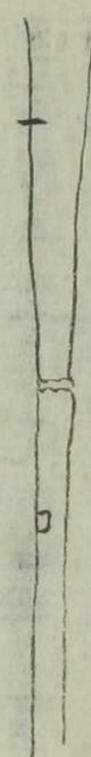
後卷

此先折合三寸安所ニ局令折仙丈ルニカニ多ク好ム



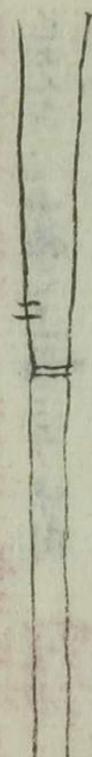
天方

此先折合三寸手唐ニ中肉又ルキ故ニ



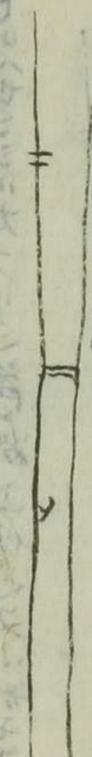
関師

此先折合三寸九曲ニ重曲ニ中肉三寸手唐上依ニ



妙法院

此先折合三寸先キスナリ折曲中肉之を上依ニ  
前下九寸長関師ニヨル



保科

此先九曲折合中肉手唐丈三寸



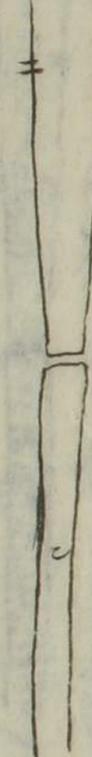
後林

此先九曲ニ重曲ニ上依ニ手唐肉重六寸厚ニヨル  
宗和仙と世マキラハシク存ニ尺少モ不修也



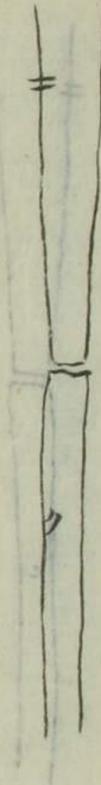
法水

此先曲ノ指子ニヨルニカニ肉唐ニ上依ニアラス厚所修也  
尺三寸少大指ニ此先九寸中央ニテ少カキ目ヲ修モアリ也



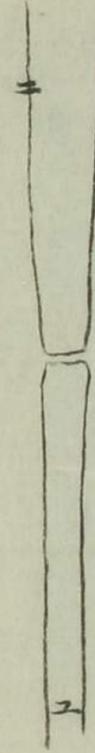
村上

比先妙法院工無テハ存ヨク似



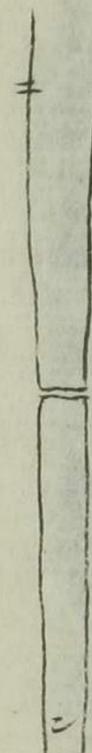
井上

比先赤金工師深海ニ似テ上似  
比先ハ昔ニ中肉



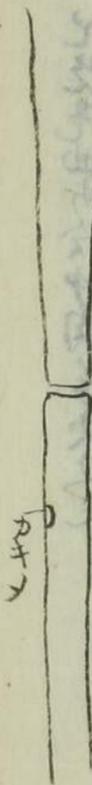
大西

比先赤金工師ニ更曲ハ丈ニ割ル上似ニアラヌ中肉  
切留ニテ中カシセシ



熊倉

比先ア字多シ折合カシ合カシ丈丈ニテを肉並多上似アラヌ  
比先神大アリ中肉ニ節下丸角は目ハニテカキモノ存ス



茶扱お竹

一 竹ノ尺五拵ニ事

又ルキ竹ハ是風ニ割テ小刀目ヲ羽肉ニ残ス是風ニス子リ  
丸竹ハ是割ル諸節ヨリ左右ハエカニ丸竹ハ用但  
カスリ方ハ又節ハ右ハエカニ丸ハ不用但押方ハ

一 極ニ倍テ割拵ニ事

何節ノ竹ニ事極ハ節ノ中ハ直クニ通タルヨシ事  
極ノ節ヨリ先表ヲ平ニ落ク割ル節ヨリ本丸ノ肉  
方極ニ割ヘシ平極ニ事竹ニヨリ節ヨリ先表ヲ丸ク  
ニテ節ヨリ本ヲ平ニ落クモ倍ノ極ノ節キ竹ハ平  
極ノ節ハ平ハ平モノ也節ハ先表ヲ丸ク節ハ平

方割り角を面と云は但一方は面を方ハ左面は極ノ  
竹毛節の向丸ク肉ノ分と又指を降る平ノ二肉ヲ是テ  
備又添キ極ノ竹ハ貝先打合と角ノキ出キモノ也降る  
丸此角ニ依ル

一 茶抄長千短位ノ事

然キ中守中ト或ハ是目ニテ十二或ハ十三或ハ十四  
節ハ先自アツブセ但ス節ヲ降ケテノ如キ果身テ付下ヨリ  
曲ル但節ハ先曲リ降ると丸ニ守節ハ本切留と丸ニ守  
貝先丸七八有但曲張ニテ長短生々丸曲ニ守曲ヲ曲ニ  
一 節ノ裏ニ智マシヨリ

方種平極ノ竹ハ節ノ裏ヲ直クニ割ル極ノ添キ竹ハ節ノ

裏ヲくり過ミヤリ過シ極淺クゆる毛節ノニ平竹ハクリ  
過ニ依ル之付クリ過ノ仕振ニ趣有唯自然トクリ過ハ仕平  
亦沿ヲミテ切過ミ丸極モ依ルノ立勢別節ノ裏ニテ  
厚キハアミクハクリ過ミゆるテモ直クニ割ルテ毛節下モ寸  
節ノ厚如中ニモ直ニ依兼入ノ上ニ直中取友如割之  
切留ニミテ知る事ノ事

節ハ先極ク節ハ本也方ノ角在時ハ切留一文字ニ但シ  
如節極ノ割ヤ美以ハ大者ハ或云ニ刀ニモ亦何ノ京モナク又ルキ  
ス子丸竹ニテクリ過ニ依モノ竹ハ多クニ刀ニ切ル但裏ニ方ヨリ大キク一ノ少斜ニ切りテ亦  
表は月ノ方ヨリ竹ノ厚ニ方ニ右一花ノ中ニ切リ也  
右耳ノ傳ニ云は月ノ方ニ右一表ノ方ニ右ニ

亦裏ノ方右ノヤクツカリト一刀如余は月ノ方細ク少クモ  
仕ル也 他ノ云貝先を拵合貝ノ口ニ仕ル時ハ切取一文字  
ニ云々亦貝先一文字ニ云々切取時ハ切取二刀ニ或ハ裏ノ  
少斜ニ切取は月ノ方ニテヤ中ニモ細ク余古ノ切取ノ表ノ  
角ヲ少ク九タル是亦一方ニテ角ヲ少ク九タルモ是ノ人々自色  
ノ細末ヲ傳文ノ布ニ加ル一之けぬ運ヲ以テ半ノ後モ  
流ノ休タル一ヲ又ニ定ル一之け智切紙を傳文ノ口決多  
切取ノ一ニモ名ニ限兼抄ノ金秤或ハ肉或ハ皮月ノ  
紙ニモ細末ヲツケ重一之け古ノ人兼抄傳文ニ傳  
是定ル一筆ノ口決ニ云々也  
一 貝先是又云々智ニ云々

兼抄ノ貝先ヲ云々ト云々又押方カスリ方ト云々智方カスリテ  
押方少ク之を云々ニイカニモ幽ニカスリ方少ク爲メニイカニモ  
自ニ云々之を傳云々貝先拵合ノ不カスリ方ニテ一刀九色  
又云々先ハ貝ノ口ニモ一文字ニモ行ニ依テ仕ル一之け  
口決有兼ヲ以テ在得心又ルキ行ハ貝先拵合テ貝ノ口ニ  
仕リ又子タル行ハ九クモ又一之文字ニモ仕ル也

一 肉ノ智有云々  
一 肉ノ前ノ兼後ニ刀ノカドリメ有云々兼ニ但目ニ見ユルハア  
也中ニモ幽ニシテ能ク心ヲ付シハ座ニカモ又ニカノ極  
一 兼ヲ以テト云々兼抄ニ云々  
一 兼ヲ以テ外中ノ方ヘツメテ前ノ先ヲ長ク仕タル有云々割取  
日

一 長葉抄の事

老葉五葉自十二半或ハ十四半或ハ十六半也此合稱之節  
或ハ切箇之節ヲ割テ仕タルモ之割指同家但只倍

一 葉抄を入ハ箇之年

極ノ海平葉抄ハ箇竹之極ヲ用割指本末スボラ又極  
又極ノ海平葉抄ハ箇之極之ヲモテテモ若割指ハ本  
末スボル指ノ中々クは自ラ見ルモ葉抄ノ箇ハ方倍ヲ  
倍割ヤハ其割ト倍云ハ割タル倍ニテ若ノ葉抄モ星凡  
々葉ノ多キハ箇ヲ倍ムキ太ノ如ク割ル又葉抄ヨリテ  
箇竹ノ五合有テサビ竹葉抄ハ白竹ナドノ箇ハ  
竹ノ葉抄ハサビ竹ハ箇或ハ葉抄ノ又ルキ葉抄ハ

箇ニ葉抄ヲ用笑割或ハサビ竹或ハ穴指ヲ用合ス  
上下ノ割カケモ葉抄アル指ニスヘシ葉抄ヨリ片ギモ仕ル  
或ハ片自ラ割メテ而シ仕ルモ之倍又箇竹葉抄ハ割  
目ナシモ之倍モ用又若サノ中々ノ竹ハ箇ヲ四方モ仕ル  
老割箇ハ葉抄ハ見ル指ニ仕タルノ之倍ノ角ノ面モアラク  
トムラモ指ハ五ノ之片目ニ仕ルモ葉抄ハ之倍箇ノ若サハ  
箇ノ葉抄ヲ入テ少クワロキモ之テゴロノナル如クイ  
ヨシ箇長サハ葉抄ヲ箇ニ入テロラニテ口ノ唇邊ハ葉抄ノ  
首ラと二三ノ指ノ他一分ラニテ又キハ指ニ仕ル又葉抄  
ヲ箇ニ入テ葉抄ノ首ラヨリ箇竹ノ小口ニ入テスク指ニ  
口本老葉抄ハ半圓唇邊也之ノ上ハ折ルハハ葉抄ニ仕ル



はあふし角巾を結ぶがキタレ中ニ出さぬ目在カノ極ニ位

はあふし切らぬ方ヨリ尺をス量るゝ角イカニモ直ニ尺ニ極ニ  
直ノ直中ハ糸取令解ノ直中ニ直ニ直カスリ方ハ一刀トリ  
るスノ十レ切らぬ方ヨリ尺をセハ角巾を尺ニ元

花筒取付

一 竹の尺三指ノ年 竹の令解の前後を定くるよきそ  
糸ハ流まきて押出さるる年の竹を好む也や何指の  
竹とも用ゆるるれとも先云ゆき竹ヨシ糸取ハ竹の  
指を糸取指付知むるに秋切の竹ハ花筒に不用す  
るゝ必破るものと

一 竹の糸取のより 突割或ハ直ち或ハフクシ或ハサビ糸  
太竹ハ竹の糸也付糸ヲ梅わき竹の令解を尺にて筒の  
切形に依り節のユカテサル方を糸ハ依るゝ之はよ大  
飛るゝの只決まらぬ筒に依り糸取を定るゝこと  
一 花筒の長サを定るゝ 寸直切糸ハ守わらぬこと

竹見三ノ月  
極力カメシ  
仍もノ糸取  
糸取ハ竹ノ  
ノヨリ





漏七方を口一寸にすまじりせ二寸にす角也其寸一尺八分  
をサ一尺一寸にす角ノ裏も七寸五分にす表も五寸刻にす

二寸切



一ニ寸表は上か  
下ハセメクスミ  
ニ寸表ノ作  
七寸ト云カ  
下ノ世は同  
ヨセウレタリ  
子細アリ

歸ハ上表は一寸五分下表は一寸五分内ノ方寸五分  
上下同方寸也後自守にす恐也其一寸二寸五分にす表一尺  
二寸五分にす下ノ節ね先也寸ヨシ上ノ節ハ丈八寸五分にす節  
ハ節ニ寸五分ノ方寸五分にす穴上ハ五分下竹寸一尺一寸五分  
ヨシ原キ竹ヨシ恐也其寸法ハイクツモ切大回身ノ下節  
短くハソコヨセく切ハ一寸節行要ニ節ニ節ニ寸五分

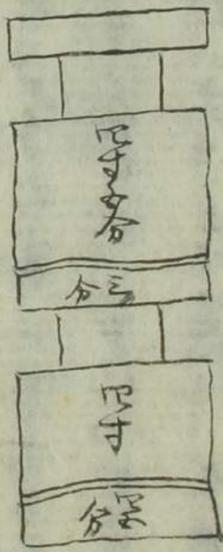
ト云ハ上ノ節ノ節ねハ内表ノ下節行要ニ節ハ押ニ寸五分  
タム節ノ竹ヨキ

右ニ寸切ハ莊山竹を小田原と切ぬら九一宗仙居生  
道安小田原陸中とす葉より利休と同伴の時ニ寸切と  
そいれりもと宗仙居安と称し利休と所は信濃葉武  
ト云ハ上ノ節ニ寸切ハ内表ノ下節行要ニ節ハ押ニ寸五分

二寸切ハ内表ノ下ノ節の百五分にす寸五分にす  
るトスと寸五分の竹ハ寸五分にす寸五分にす細キハ尺  
クシ又四寸五分の竹ハ寸五分にす寸五分にす但長と  
てり

竹の尺ニ寸切ハ節の斜ナルカヨシ竹ニ寸五分にす節寸五分

くろ方と前こちなるりる一京よめ梅前口ろくぬと  
 前よる尾へー大小け流家のす法ノ始好に切りヨシ



輪八合上花台一寸五分下二寸

大けふハ二寸大種の花好とある一めんをこけ二寸も  
 利体依のつめの上ノ端を并七寸ヨリ八寸八寸半と各  
 花台一寸五分ヨリ二寸一寸八寸ヨシ但大種より決  
 ちて大ノちもあまはるも大種能す法と凡  
 切分是又只決ちて大種と割下と三寸五分定られ

とも竹のち小ヨリあし振る

面用とす 糸二寸 穴上より七寸半 穴下六寸半  
 くり上六寸ヨリ寸半足す一 一寸切ハ老若并一人の  
 用ヨシ 二寸切ハ上ノ欠キ一寸八寸下ノ欠一寸五分ヨシ是も  
 大一寸切のこくこは倍す一一寸切も二寸切も上の  
 端と前並メハ竹ヨリ兼らぬぬ付ハ不兼たぬ若  
 ぬと丈夫ハ果つ

スル和風  
 二寸五分  
 あり

すも切但スル花台并八寸五分ヨシ是も前ハ二寸五分  
 下もも不兼目ハ二寸五分大寸逆筒と切てヨシ  
 大寸法をぬすまのち  
 所穴上の端の重とむをアケテ厚ハ六寸半換はる

新元の形ははより  
たす法をな何れに作るも  
の口角と

一 利休自作の種のをさす法

惣長サ一尺二寸より短く切ると一尺二寸五分竹のちサ柄を  
与へ一尺一分

水持カハノ言サ上ノ小口ヨリ短ク切ると一尺五分

手ノ長サを寸の中首よりその右の根をその右にヨハレ  
サ一分半の法にその右の首を上ノ首より一尺五分  
とも面有

横手ノ長サ上端をその法に寸五分ヨハレ寸五分の中を右の首

一 一方あるは目ナシ短く手ノ首より横手ノ上端迄を分

回横手ノ穴角の形を思ふ手ノ首より寸五分でカ  
穴ノ長サ短く二分横手一分半ヨハレ横手ノ首より寸五分  
各一ツハイハレ横手ノ首より寸五分

後ノ上ノ切口ヨリ節と九方或ハ九方半或ハ八方半節  
ノ下ノ有回下ノ切口節と二分半或ハ二分半節モ  
下ノ同上ノ節ト下ノ節トノ首より寸五分或ハ寸五分  
節ト寸五分

一 宗園師依は薄二寸切す法 惣長サ一尺二寸七分

同右サ一尺二寸七分 上水持手ノ右の節ト九方  
節ト一寸七分 下水持手ノ右の節ト九方

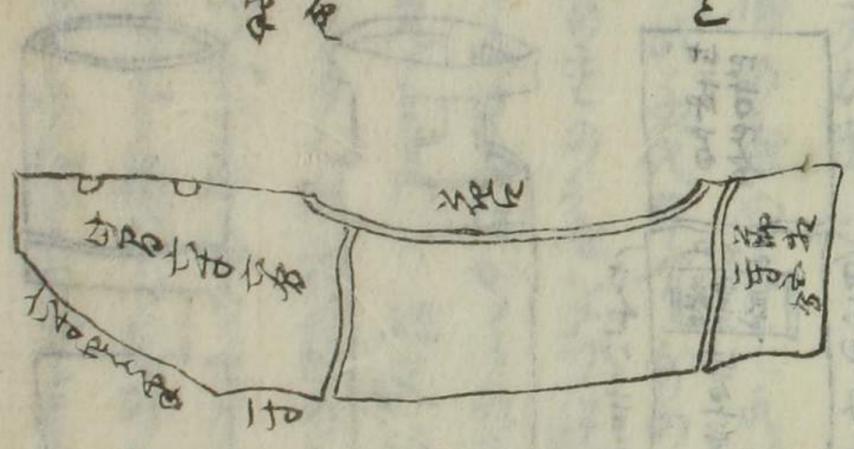
新虎上ノ山口ハ七右半方ニ至リ穴ノ奇聖七右横江右  
 花口ノ向方ニ至リ半田ニ至リ花口ノ向方ニ至リ  
 大ノ花筒内厚師ノ花筒ニ至リ小ノ筒ニ至リ  
 妙法院竟然就之ハ上寸法ニ

一 桑山宗仙居士金筒ノ長 七右半方ニ至リ  
 左サ一尺一寸九分ニ至リ海軍寺ナリ七右半 花口ニ寸  
 節ノ長ニ至リ 水筒ノ長ニ至リ寸半 日節ノ長ニ至リ寸半  
 寸也一寸也寸半 寸半ノ中ニ寸半ノ寸半ニ至リ寸半  
 大花筒内行ノ上ノ節折後花筒ノ形ニ至リ宗仙居士  
 土割有仙園師ハ此道  
 一 道母長土師ノ花入寸法 七右半一尺一寸半ニ至リ

左サトモ寸長ニ寸九分 花口長ニ寸半寸半 巾ニ寸二分  
 中ノ節ノ長ニ寸半

○トモノ方小口ヨリ穴ニ  
 一寸半ニ至リ  
 穴ノ長一寸半ヨリ寸  
 穴ノ長一寸半ニ至リ

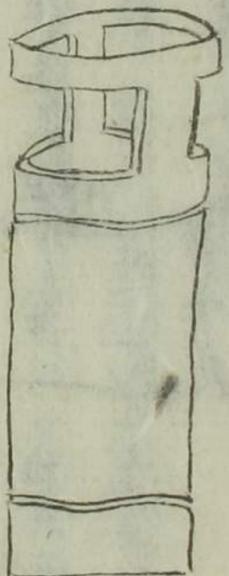
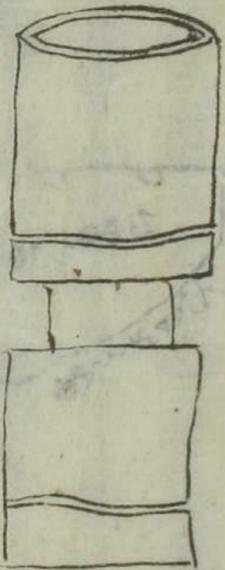
○小口ヨリ穴ニ至リ寸半  
 穴ト穴トノ長一寸半ニ至リ



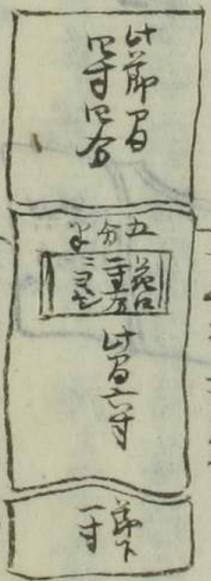
園師依之痛  
二重切ノ巻

字の仙居依  
二重切ノ巻

折の巻依  
如大ノ巻



三ツヨビ



サセリノ守り石

白ち面外ニ守り石  
日面内ニ守り石

巻をテ一入ニ守り石をテ一入ニ入る ち重切上ノ巻も

下ノ巻白も巻をのりて

如大ト云然ハ千ヨノヲが律ニ

手代巻のいあしく桶の巻ぬけてあたまにぬい月も

下ノ巻白も巻をのりて

桶の巻ぬけてあたまにぬい月も

下ノ巻白も巻をのりて

桶の巻ぬけてあたまにぬい月も

下ノ巻白も巻をのりて

桶の巻ぬけてあたまにぬい月も

下ノ巻白も巻をのりて

桶の巻ぬけてあたまにぬい月も

法竹のき細... 寸法不定... 長... 短... 一

*Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.*

表具ノ式

表具ノ式 一文字 縁... 寸... 縁...

中ノ切 縁... 寸... 縁...

風帯 一文字ノ切ヲ用

表具ノ式 一文字 縁... 寸... 縁...

中ノ切 縁... 寸... 縁...

風帯 一文字ノ切ヲ用

表具ノ式 一文字 縁... 寸... 縁...

中ノ切 縁... 寸... 縁...

風帯 中ノ切ヲ用

一 表具ノ式... 寸... 縁... 一 表具ノ式... 寸... 縁...

中ノ下ノ寸ヲ  
短クシテ又  
寸ハ有ク又  
上ノ寸ヲ短クシ  
テ寸ハ有ク

一 寸 帷積背 一 文字短く是等寸仕付層ノ小縁ナシ

中ノ切縁也 上下短く是也 風帯一文字ノ切用

一 寸 切縁也 一 文字短く是也 中ノ切縁也

上下短く是也 風帯中ノ切用

一 寸 単目也 一 文字短く 中ノ切縁也 上下短く是也

風帯中ノ切用

一 寸 輪積背 一 文字短く是也 中ノ切縁也 上下短く是也

上下短く是也 風帯一文字ノ切用

一 寸 切縁也 一 文字短く是也 中ノ切縁也 上下短く是也

風帯中ノ切用

一 寸 単目也 一 文字短く 中ノ切縁也 上下短く是也

輪積ノ  
後キ寸後  
寸方ヨリ寸  
端ハ寸半  
方寸半

風帯中ノ切用

一 寸 妻具名不寸半

一 寸 線内 晶线 上下 一 文字 上下 中 上下 短 但縁積背寸

上下 但縁積背寸ハ若縁ト云 際補背 風帯 寸 但縁積背寸

表紙行 但妻具大隈有云 表紙行 社倉和 惣縁

表紙行 竹ノ節ヲ破風トモ云 軸 油助 但妻具二節有寸半寸云

一寸ノ寸半

一寸二破 下一風帯 風油一般

上ノ寸ノ半寸ヲ下ノ寸トス 中ノ上ノ半寸ヲ中ノ下ノ寸トス

一 文字 上ノ寸ノ半寸ヲ下ノ寸トス 風帯ハ一文字ノ下ノ寸ヲ用

油ノ出ハ風帯ノ巾ヲ用 油ノ短ハ油ノ出ハ一文字ノ半寸ヲ減ス

帷帳背ハ中ノ下ノ寸ヨリ又

一 端緒背ハ縦細キヲ用

大寸法ナキヤ也

一 紙ノ内信紙ノ年

上ヲ廣 下ヲ信 口ヲ信 裏ヲ廣

大寸法ナキヤ也

人カ至ル 花カ至 吾カ至 廣カ至 後ヲ信

一 紙ノ内ヨリ寸尺ノ始ル

一 糸カ至ルノ五倍ノ切紙ニ口カ至ルノ大細年ノ上ノ寸尺ヨリ

一 風帯ノ年

一 文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一 一文字ノ切ヲ用是ヲ寸尺トス中ノ切ヲ用是ヲ初トス

一色の表紙ト  
十子紗を毛彫  
する毛彫を毛彫  
し織り一色を  
表紙に用ひ  
表紙に用ひ

本地 南東利井種く好有り 玉油 磁器合ノ油毛彫有き

官人ニハ象牙ノハ子油漏ヲ舟是表紙トスルニ象牙ノ直油

漏ヲ舟ヲ表紙トス

又桑門ニハ本地ノハ子油表紙トス密地以象牙ノ密地ノ次ニ

佛像ニ金ノ軸ヲ用毛彫アリ

一 級ノ糸合ノ表

細字ノ物ニハ大級押糸ノ大キルヲ糸合大級ノ糸合上下

糸合上下ハ糸合是知又級ノ半押糸等ノ糸合之係ヲ

糸合上下ハ糸合是知又級ノ半押糸等ノ糸合之係ヲ

一 表具切色ニハ糸合ニ事 震輪ニ糸合ニ事ト用ハニ級ハニ事ト用ハニ事ト用

云綿 官人ニハ印合糸合ニ事ト用ハニ事ト用ハニ事ト用

### 氏家

### 桑門

### 外歌ニ事

### 一 外歌ニ事





一回麻の目名不<sub>レ</sub>又

油瓶解<sub>レ</sub>九<sub>レ</sub>命<sub>レ</sub>云 麻<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>元<sub>レ</sub>云 油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>解<sub>レ</sub>九<sub>レ</sub>命<sub>レ</sub>云

大名<sub>レ</sub>示<sub>レ</sub>麻<sub>レ</sub>の階<sub>レ</sub>外<sub>レ</sub>勢<sub>レ</sub>テモ<sub>レ</sub>付<sub>レ</sub>名<sub>レ</sub>示<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>字<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>違<sub>レ</sub>字<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>モ<sub>レ</sub>在<sub>レ</sub>ト云ハ<sub>レ</sub>花<sub>レ</sub>交<sub>レ</sub>ノ振<sub>レ</sub>子<sub>レ</sub>倍<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>習<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>ナリ

一 幅<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub> 并<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>也

是<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>字<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>和<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>向<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>太<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>終<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>別<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>ト云<sub>レ</sub>流<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>合<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>但<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>和<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>幅<sub>レ</sub>示<sub>レ</sub>在<sub>レ</sub>夕<sub>レ</sub>几<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>終<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>向<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>太<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>お<sub>レ</sub>違<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>ヘ<sub>レ</sub>

一 二幅<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>對<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub> 并<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>也

二幅<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>對<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>目<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub>果<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>和<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>ス

一 三幅<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>對<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub> 并<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>也

中<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>志<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>背<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>背<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>又<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>ス

一 四幅<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>對<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub> 并<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>也

此<sub>レ</sub>幅<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>上<sub>レ</sub>同<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>事<sub>レ</sub>果<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>又<sub>レ</sub>画<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>倍<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>二<sub>レ</sub>幅<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>志<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>背<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>又<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>二<sub>レ</sub>幅<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>引<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>憶<sub>レ</sub>後<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>仕<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>大<sub>レ</sub>振<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>大<sub>レ</sub>振<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>取<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>画<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>向<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>合<sub>レ</sub>セ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>テ<sub>レ</sub>向<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>合<sub>レ</sub>セ<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>瓶<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>向<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>合<sub>レ</sub>ス<sub>レ</sub>時<sub>レ</sub>ハ<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>大<sub>レ</sub>自<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>ニ<sub>レ</sub>モ<sub>レ</sub>又<sub>レ</sub>油<sub>レ</sub>先<sub>レ</sub>ノ<sub>レ</sub>中<sub>レ</sub>ヲ<sub>レ</sub>を<sub>レ</sub>

池之ノ大船ヲを地盤ノ中ヲを大船ノ地盤ヲを凡  
アリノ是舟ハ凡ク

一 五幅一對ノ又 并ニ是也

四幅一對ノ中ヲを其後補背ニ仕ル中ノ其船ヲ其  
幅後背ニ仕リ其大船ヲ其幅後背ニ仕ル又中ヲ其  
後補背ニ仕ル中ヲ其幅後背ニ仕ル大船ヲ其  
幅後背ニ仕ル又中ヲ其後補背ニ仕ル二幅ヲ其幅後  
其大船モ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
是凡中ノ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
中ヲ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
一 以幅一對ノ又 并ニ是也

以幅其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

以幅其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

一 以幅其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

一 以幅其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

中ヲ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
中ヲ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
中ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル  
是ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

一 以幅其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

中ヲ其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル其幅後背ニ仕ル

折折ヲ折之易原好々折折之悉列紙之元在之思々  
曰右ノ一ノ初ノ折也

一 是後引遠く事

中言ハ向テ右ノ可引一幅を凡時也計二幅一對ハ右ノ  
引ナル之ニ幅一對ハ中言ハ右ノ可引遠く事  
一對ハ他先ノ是ハ他先ノ方ハ他後ハ他後ノ引遠ナリ  
他後ニテモ右ノ可引遠クハ幅一對ハ他後ノ中  
言アルモノ之ハ幅一對ハ画ノ後引遠ク右ノ可引有  
方ノ可引トイヒナリ

一 無正く事

他先ノ方ヲ少シトシ之ハ他後ノ内毎法ヲセサルモを

不正見せて之キ者是智也

右ノ字易原傳本也口傳々々々々口紙本傳々々々  
口文々々々也

言材唐

宗周孤孝子

在判

一 宗周孤孝子也口傳々々々々

曰之テ信ヲ固也之條縦横任自然右利之テ宗周之  
一 曰所好軸々々

易牙軸之先ヲ少細ク軸先ノ平ニ少肉在アリ車軸之

角ヲ大面ニ九竹ノ軸サビ竹ヲ前割ニシテ用之

子匠ノ名

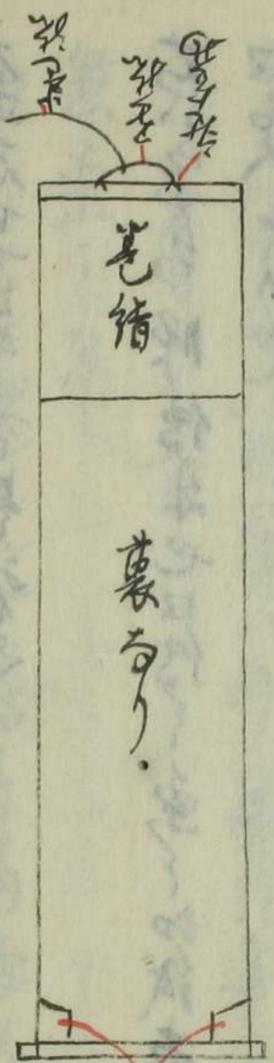
表紙竹葉梅云

一文字

下ノ文字

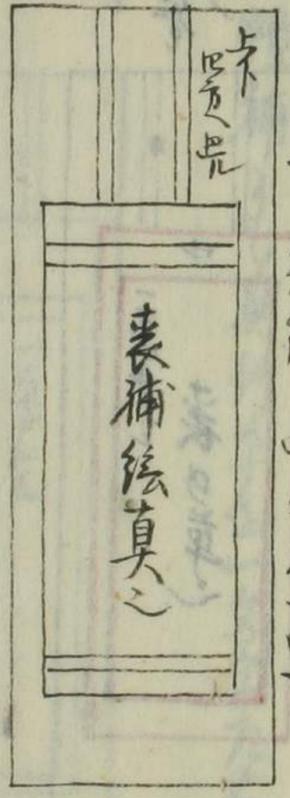
池

ウツ池真之  
ハ子ニクハ  
スツ池草之

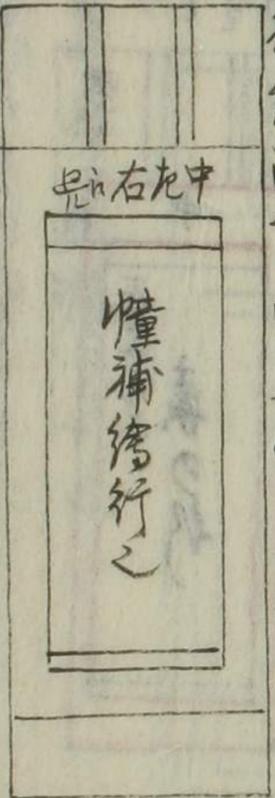


表紙繪ハ上下ノ如縁ノ色ヲ用テ云々

上下  
色ハ



表紙繪ハ中へリ色方ハ色ルヲ云々



端補繪ハ中縁九方ノ細ク色方ヲ云々

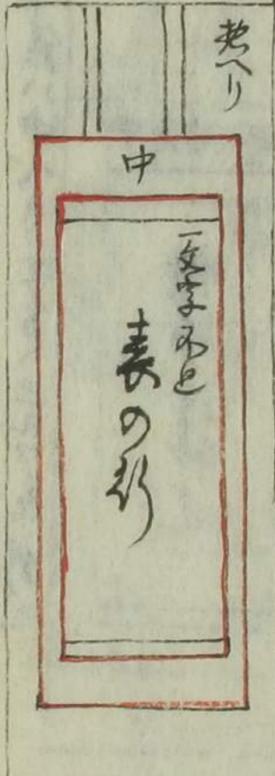


表補も  
 一文字ならぬ  
 表縁と中との  
 間に細い糸を  
 引く表補の真  
 と云



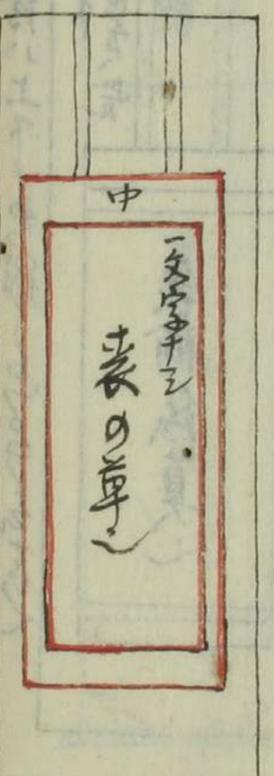
表縁と中との  
 間に細い糸を  
 引く表補の真  
 と云

一文字ならぬ  
 表縁と中との  
 間に細い糸を  
 引く表補の  
 真と云



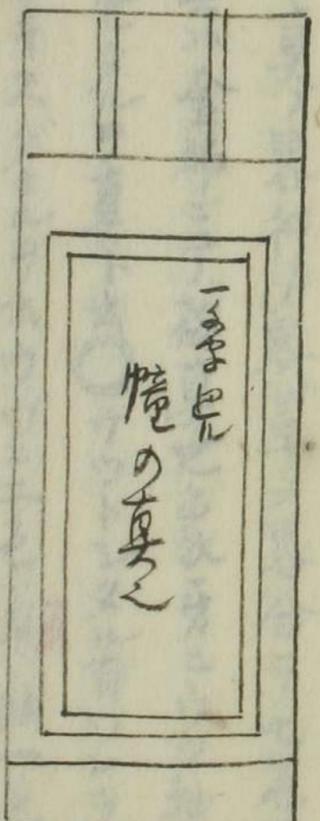
一文字ならぬ

一文字ならぬ  
 中の内側の細糸  
 を表補の  
 真と云



中風帯

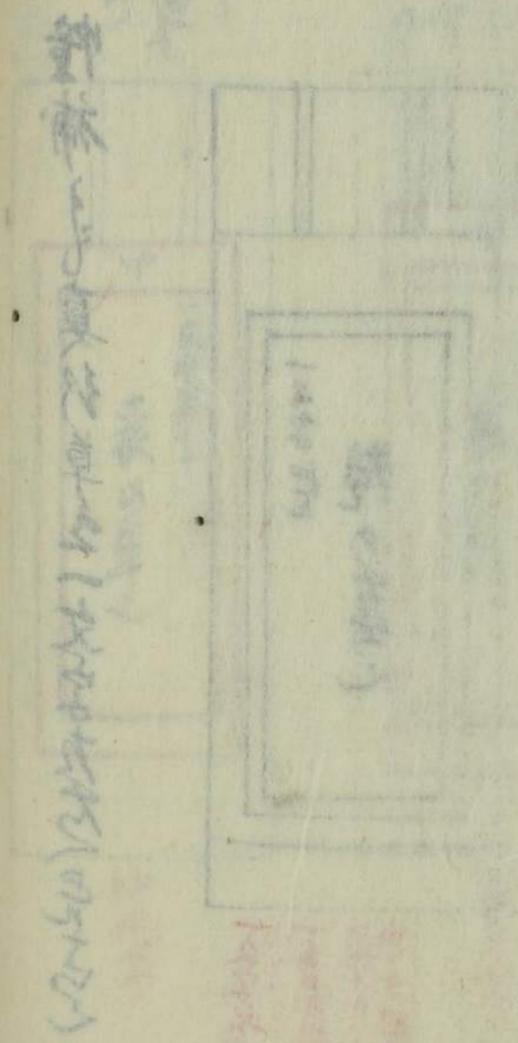
帷補も真の草を一文字ならぬと云



一文字ならぬ  
 帷の真と

一文字ならぬ帷の真と  
 一文字ならぬ帷の真と  
 一文字ならぬ帷の真と  
 一文字ならぬ帷の真と  
 一文字ならぬ帷の真と

表具をいふも特補後ハ一文字中上下と云ふこと  
 也 表補後ハ一文字中惣縁と云ふこと下と云ふこと  
 上下の惣縁と云ふこと下と云ふこと  
 表具をいふもいふこと六ヶ安るることまゝ表具ハ葉湯の如きこと  
 いふこと



表具之事

ヒヤウホハ真 トウホハ行 リニホハ草 ヒヤウホニモ色有極真  
 行草四色真ノ畧行ノ畧草ノ畧合テ七色也軸ニモ真  
 行草有真ハ金物ニテ極真也多分ニウツ軸トテ真アリ  
 ◎ナカマテ巻タルヲ真ト云 ◎サウトニタル有ツレヲ行ト云 直  
 軸トテアトサキスグナルヲ云ウツニ色真油一色ニテ真行  
 草ノニツ也木ニ抱油具外唐木又塗油ハ草也竹ノ輪  
 ナトハ草也表具ノ心持文字ニテモソノ衣タイヲ以テ表  
 具スルナリ出家ナトハ弁ニ金入ヲスレモ衣類ハ絹羽二  
 重ノ類也ソレニハ文字ノ表具ナトハ絹ニテ一文字ヲ金  
 入ニスル女公家ナトハイカニモ絹襦ニスル也平生絹襦

ヲキルユヘセソレハ上下ヲ金入ニシテヨキ也或ハ利体ナトノ  
文ノ類ハ紙表具ニシテ一文字ヲ金入ニスルハケサノ心ヲ  
ヨシ紙表具ニモヒヤウホトウホリシホノ位根有金入ニテモ  
トシスミテモ其時代ノ切レヲ取合スル心持カヨキニサレソノ  
ヨウニモナラヌユヘ見合次第也新筆ニハ新ニキ切レノ心  
ヨキ也色ノ取合ハケバノシキハアシキ也子ムリメオハ又ア  
シキ也ハウキトスルトキハ白キニ淺黄ヲ用ルテアル先ツモノ  
口クナルハヨキ也表具ハ切者ノ入ベキヲ也先ツヒヤウホ繪  
ハ極真ニテ風帯ハ中ノ切レヲ必スルコレ極真ノ習ナリ  
金軸ニメ上下ヲ金入中モ一文字モ金入ヲ用ユ具ウチニ思  
フヤウニナキ時ハ上下ハ純子ヲ用ユ如此スルトキハ一文字

ヨリ小縁ヲ追シテ中上下ハ常ノ如クニモスル也コレ七色ノ  
内ニ色ハ大概如此障補繪ハ如常中ヨリ惣縁ヲ九  
也縁リフトキ也輪補繪モ中ヨリ細ク包ス也惣表具ノ  
曲尺合ノ一ハ夕トハハ杉原一牧位ノモノヨキ恰好也ソレヲ  
横物ニスルノ恰好ハ一文字ノ上ヲ一寸徑下ハ半分徑也  
中ノ上ハ中ノシタヨリ寸法出ル中ノ下一文字ノ上ノ一倍也  
一寸一文字ノカミアルユヘ中ノ下ハ二寸ニスル中ノ上ハ中ノシタ  
ヨリ寸出ルユヘ一倍ニシテ四寸也中ノシタ二寸ノ倍ナレハ  
四寸也上下ノ上ハ中ノウヘヨリ寸ヲ考テ中ノウヘ四寸  
ナレハ二倍ニメ一寸ニ寸也上下ノ下ハ上ノ半分ニテ六寸ニ  
風帯ハ一文字ノ下ヲウケテスルハ一文字ノ下五分

此ノ出小  
右ノ三ノ名考  
仕ルニモ之

レハ一分羊カニ分増メ風帯ヲ七分油ヲ三テ恰好ヨキ  
ナリ風帯ノ如レハ一文字ヨリトル也ソレモ切ニヨリテ中  
ヨリノ毛取テアリノ形ニナラズヒヤウホノ極真ハ中風  
帯也ヨノハ先ツハ一文字風帯也油ノ出ハ風帯ヲウケテ  
出ハ七分ホトヨキ之小口ハ一分増メ八分ニテサヲシタルヨキ也  
軸ノ右キハイヤミキ也一文字ハ一文字油ヒロキトテモムサ  
トハ増サヌ也豎ホソキモノニ風帯フトキハ見ク凡シキナリ  
油モ七分ヨリ出テハアシキ也カレ尺巾度キ物ハ一分油モ  
出シ多クスルテアリノ風帯モ横物幅廣クスルテ有真  
恰好次也一文字ノ下増ストテ必風帯油ノ寸増ハ  
非ス一文字ハフトウスルテアル也幢補繪ハヘリヲ上

下ヲハスニ非ス中ヲ也ス也輪補繪モ中ヲ也ス也幢補ハ  
中ヲハスソノ寸ハ中ノ下ヲ也ス心ナレハ二寸ノハワニ寸ニテハ  
巾度キニニ寸ホト洗テ一寸ハ分油ニスル也輪補ハ  
中ヲハス之巾ニ分ニ宗閔ノナサレタル也巾ノ度ハ幢補  
ニ似テアミキ之ヒヤウホノ真ノ極ハ又仕形有極真ハ  
前ニアル通ヲ以テ極真トシタルヘシ真ハ内ノ小ベリ  
ヲナクシテ一文字ヲ照ヲ細ヘリニメハス也中ト一文字ノ  
間ノ糸細リヲ取ヲ云也一文字ヲ細ヘハス也行ハ中ト上下  
ノ留ノ小ヘリヲナクシテ一文字ヲ細ヘハス也草ハ糸ヘリノ  
ブコナシ真ノ畧ハ一文字ナクワカケニスル也行ノ畧モワカ  
ケナリ草ノ畧モワカケニ表補ノ極真ノ小ヘリ一分也

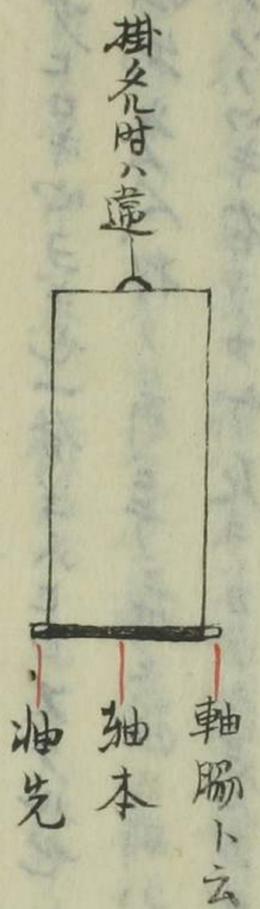
大幅ニテモ同ニ成程小幅ノモノハ一方ヨリワムルナリ真ノ  
表補ノ糸縁リハ少糸ヘリ少キ故ニ一方羊ニ幅ヲスル  
ナリ曰真ノ時中ノハ中ノ下ノハ中ヲ也スハツナレ中ノ  
下ヨリワムル也上下ヲマハシ中ヲマハス故ニ幅ノ狭キアル  
一也中尊ナトハ真ニモ極真ニモテ照ハ帷補草  
カ行ニスル也帷補ノ真ハ糸ヘリ一文字ト中トノ間ニ  
有行ハ一文字ヲ縁ヘマハス也草ハ如常也畧ハ真行  
草居コワカケヲスル也帷補ハ真ハ中ト一文字ヲ縁ヘ  
マハス也中ニ令ニ行ハナキニ草ハ常ノ帷補也真ニモ  
草ニモワカケヲ用テ畧トス真ヲハ中尊ナトニスル一  
ナリ左右ハ草也中ノマハシハ一方ヨキ也一文字ノマハシハ一  
方

一

羊ナリ糸ヘリハ一方カ一方羊ハ糸ヘリ多キハ一方羊ニ致  
ナリ糸ヘリスクナキハ一方羊也帷補ハ一文字ノマハシ一方羊  
ニ少ヒロキ心ヨキ也一方羊ハヒロスグル也  
掛物巻人杯ノ前ニテ床ニ掛ル時ハ床ヘ上リ中ヲカ  
ケソノワキ右ヲカケ左ヲカケル巻カケテカケル位振有  
ヲサムル時モ床ヘ上リ左ヲマキソノ次右ニモ次中トハズ  
也二幅對モコノ心ナリ  
掛物結巻トキ表紙竹我右ノ方ニシテハ勝手アミ、  
左ノ方ニスル之中ト左トハ上へ緒ヲアクル右トハ下へカケル  
也中ハ又如此トリ違ル所ヒ子ル左ハ又ヒ子ラスニ取  
違ル右モ又如此取違中ト左ハワナヲカケテ見ル心

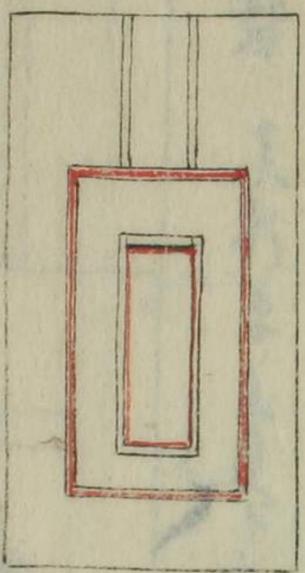
ニテ我白テ丸床ノ右ヘユクヤウ也右ハワカ向テ右床ノ  
ワナ行ク也

一 墨跡表具各所 軸先 軸本 軸脇 ヲレニ卷テ  
持時ト掛テ置ク時ト遠ク也マキタル時ハ



上ノ掛緒ノウチタル木ヲ表紙竹ト云ソノ裏ニアル緒ヲウ  
ラマキノ緒ト云油ギハノ緒ハ油タスケノ緒ト云也掛緒

マキ緒ト云一文字中上下風帯ニ此花ト云ウハマキノ緒ハ  
表具ノ上ノ裏ノ方ニウラサノ心ニキヌヲワクルナリ  
一床ノ内各所 油先ハサシヨル也油脇ハ中也油本ハ右ナリ



極真表補繪表具 金軸 玉軸

少和八年卯年六月

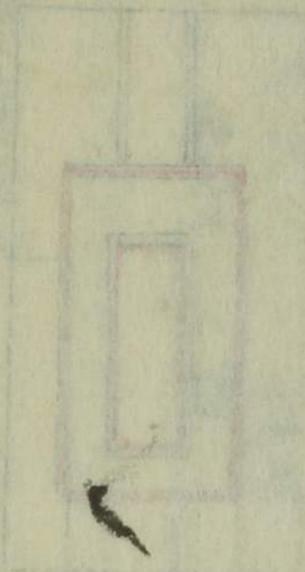
原勝齋字



表具雛形

幅身 表具雛形之形ノ西招也

一 表具雛形ノ形ノ西招也  
 表具雛形ノ形ノ西招也  
 表具雛形ノ形ノ西招也



象



新



真



新



以  
情秀



以  
表背



以  
情背



右之幅射

少き院我けりる草ノ表補法表振新ノ情  
補修中きこ申候と表振の一文字あり  
けりる表今と表振の中も也

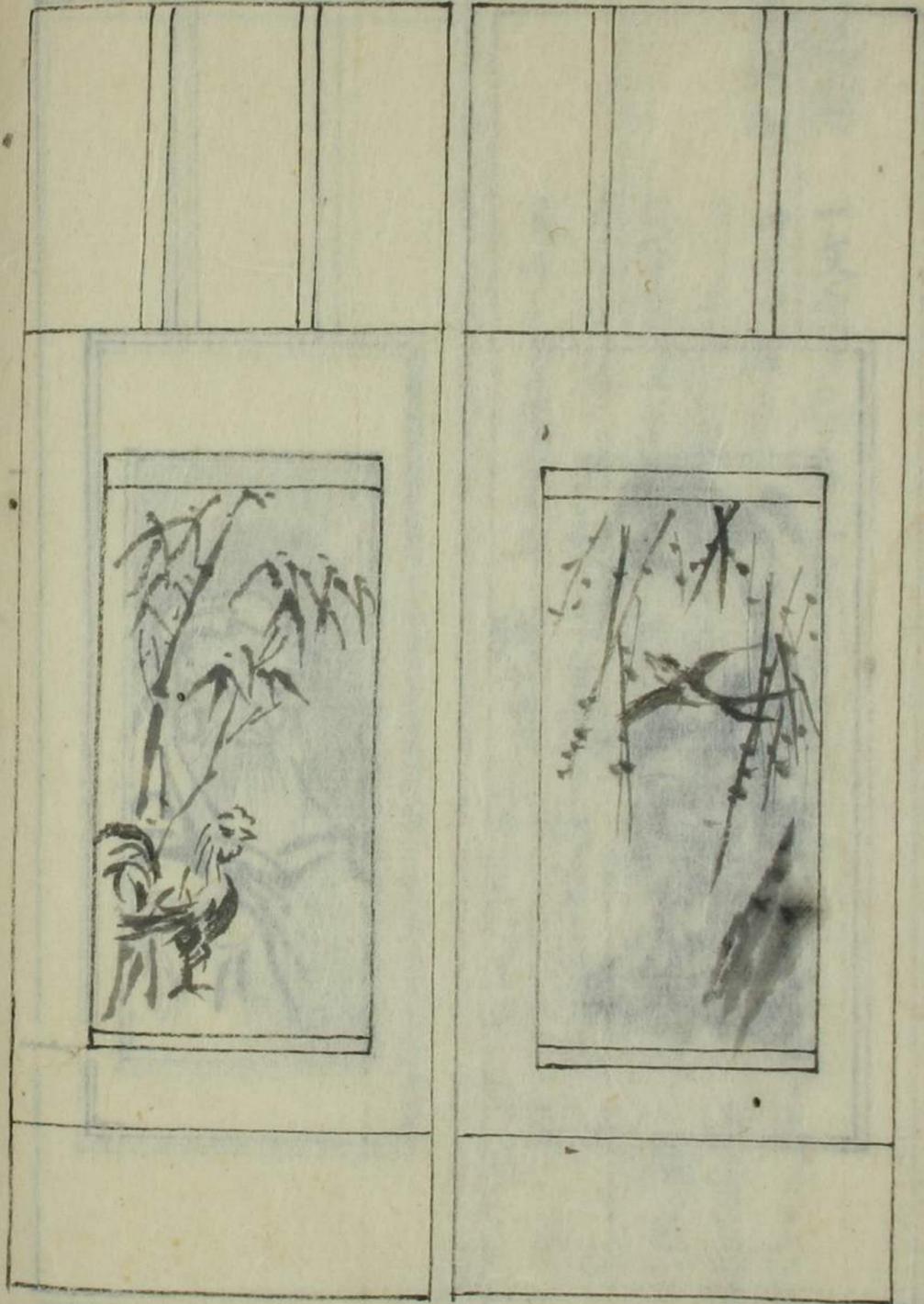
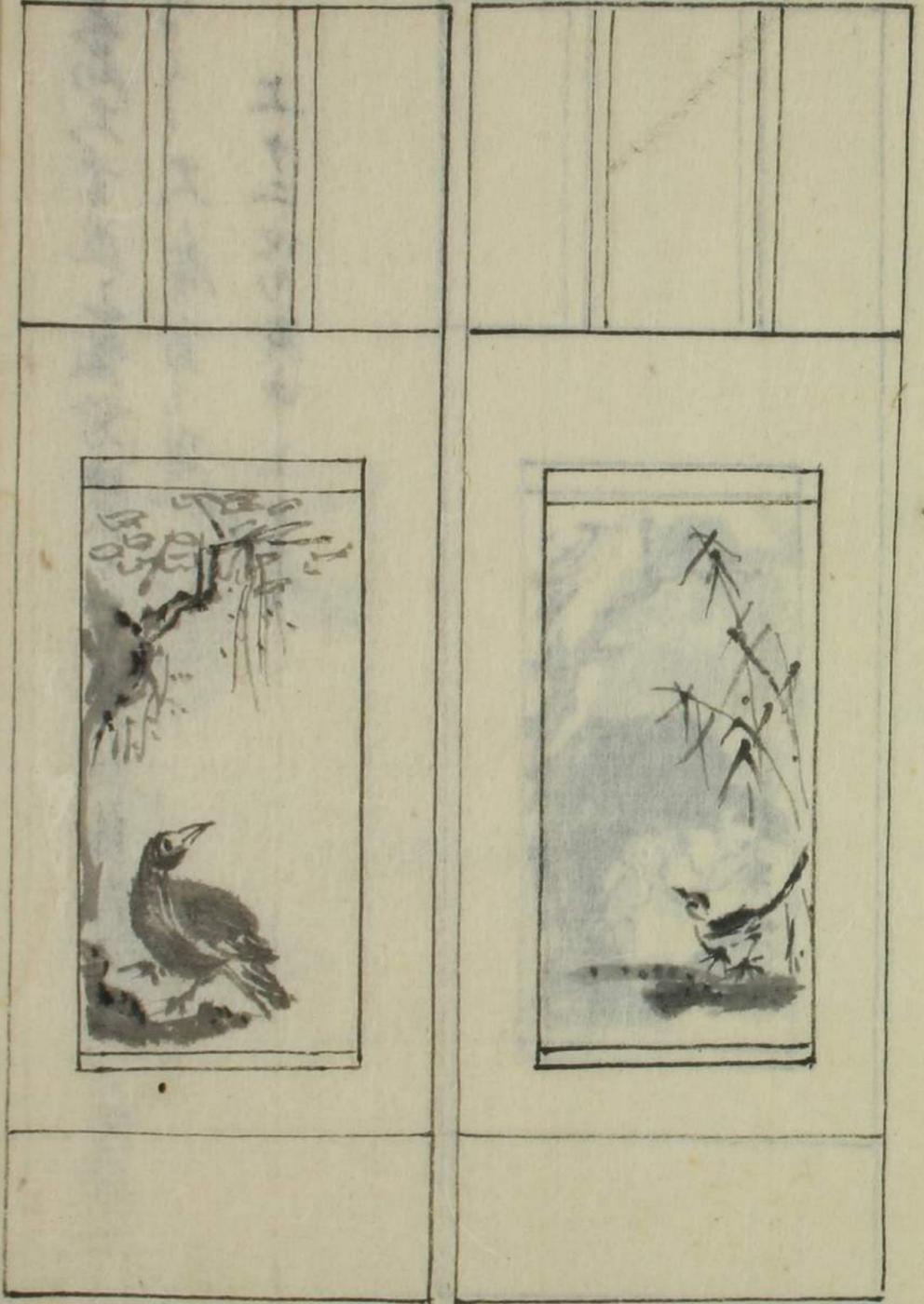
二幅対  
善補法

一文字のちとす中一カク分まるる一文字を其の  
 中とす中とす一文字の中細を其の中とす中とす  
 二寸五分の二寸五分を其の中とす中とす  
 五分中細の二寸五分を用下けまらる中の中とす  
 一文字の上 紙を其の上まらる中の中とす



巳幅好  
 子取二幅  
 一好可看  
 是名三心  
 的(子)心  
 在(子)心  
 太(子)心  
 太(子)心  
 九(子)心  
 上(子)心

也 野 幅 巳



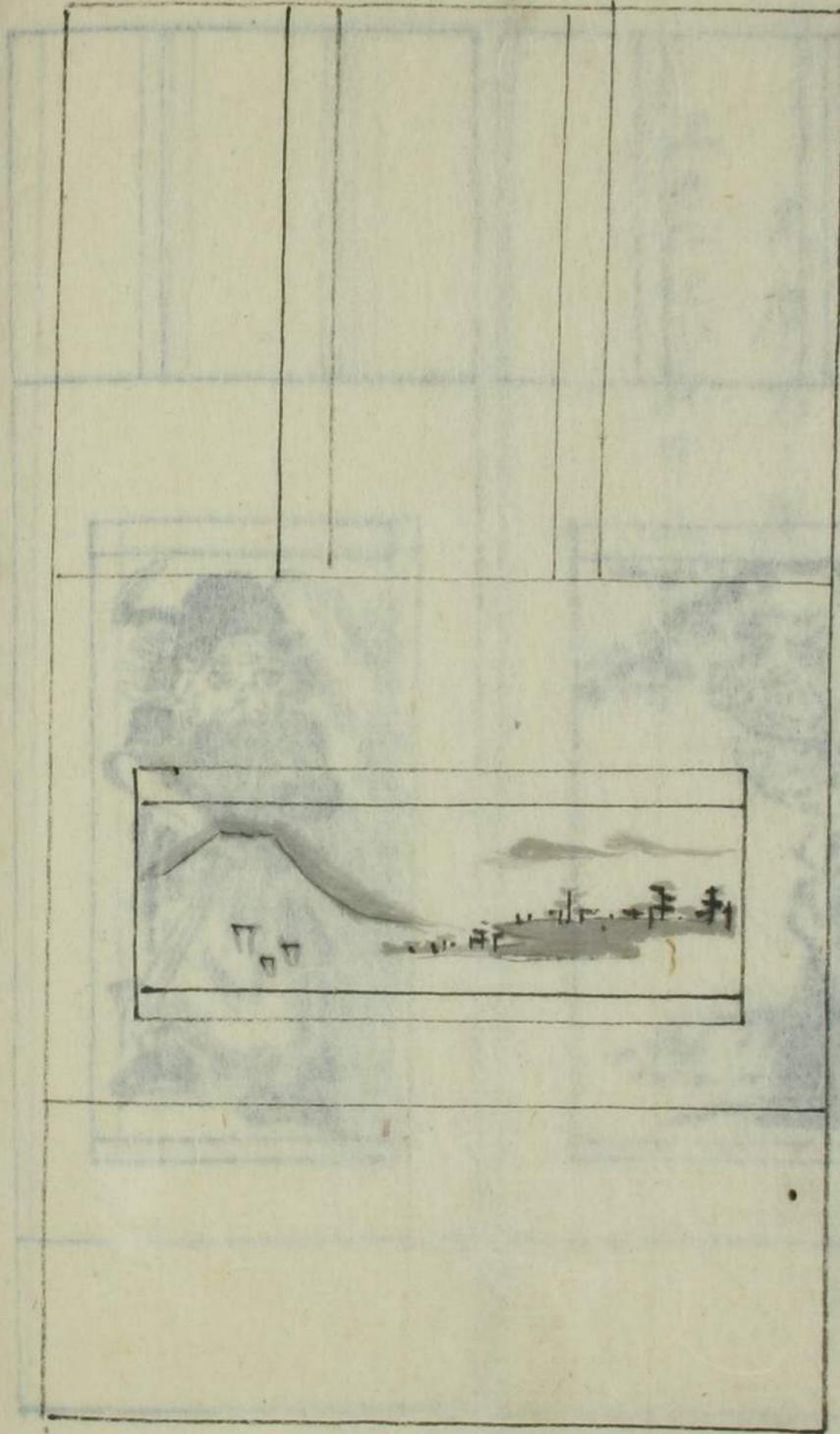
喜阿大書院之幅對中ハ志の幅補法也志の幅補法  
ナリ大書院之用

上十二号段中上並方也

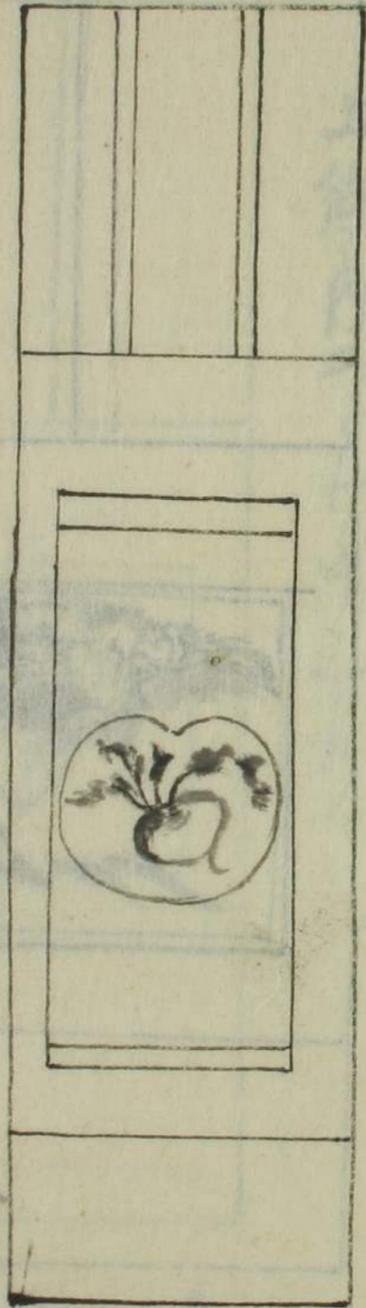




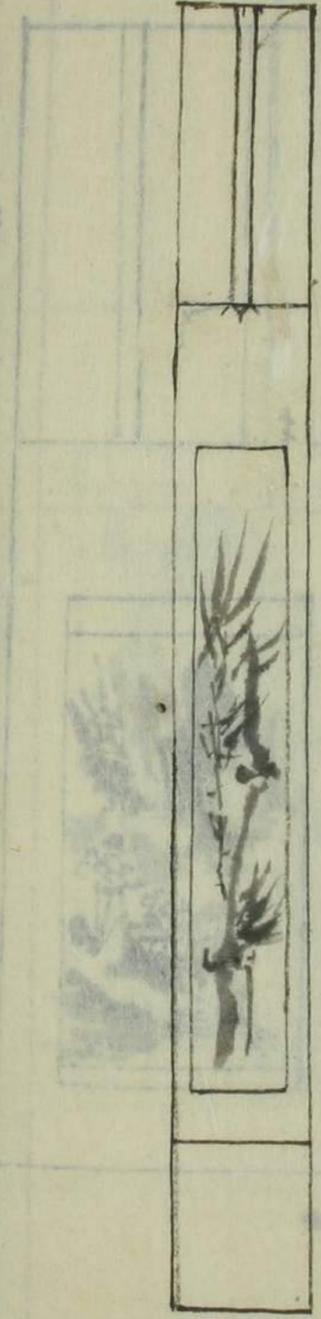
紙の上の長ケ中より取こはす



傍の長ケ中のす。用上は。この。用。一文字。この。知。こ。



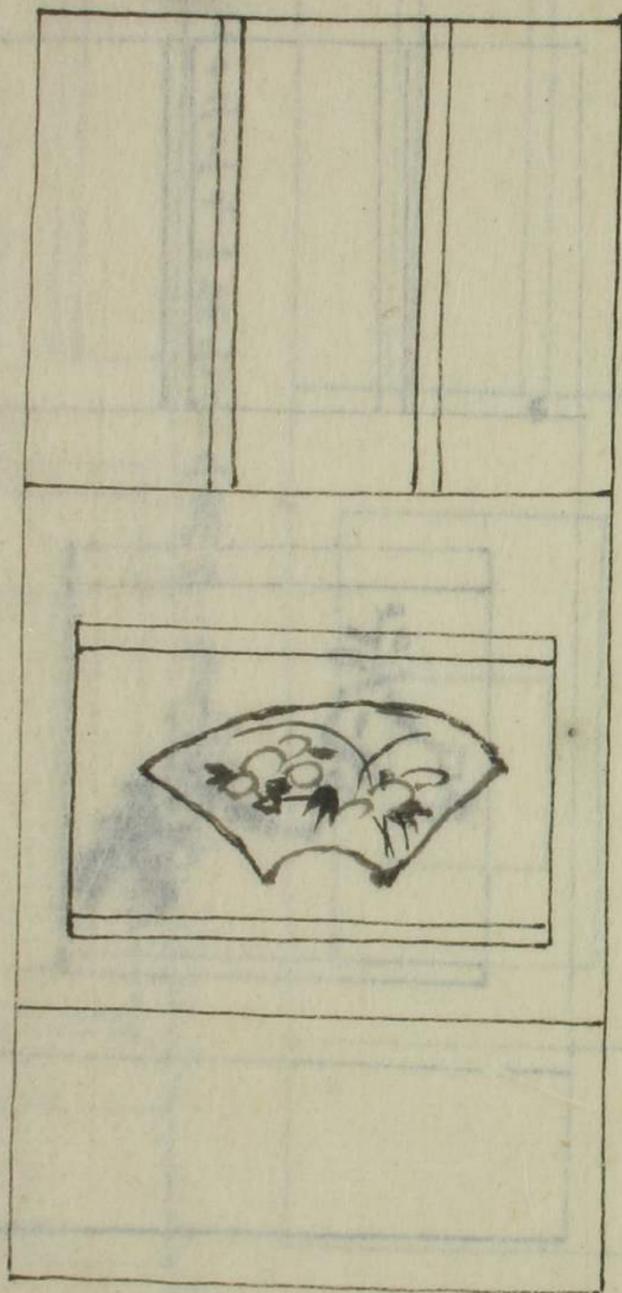
紙の面は下より上への順に中へ入る



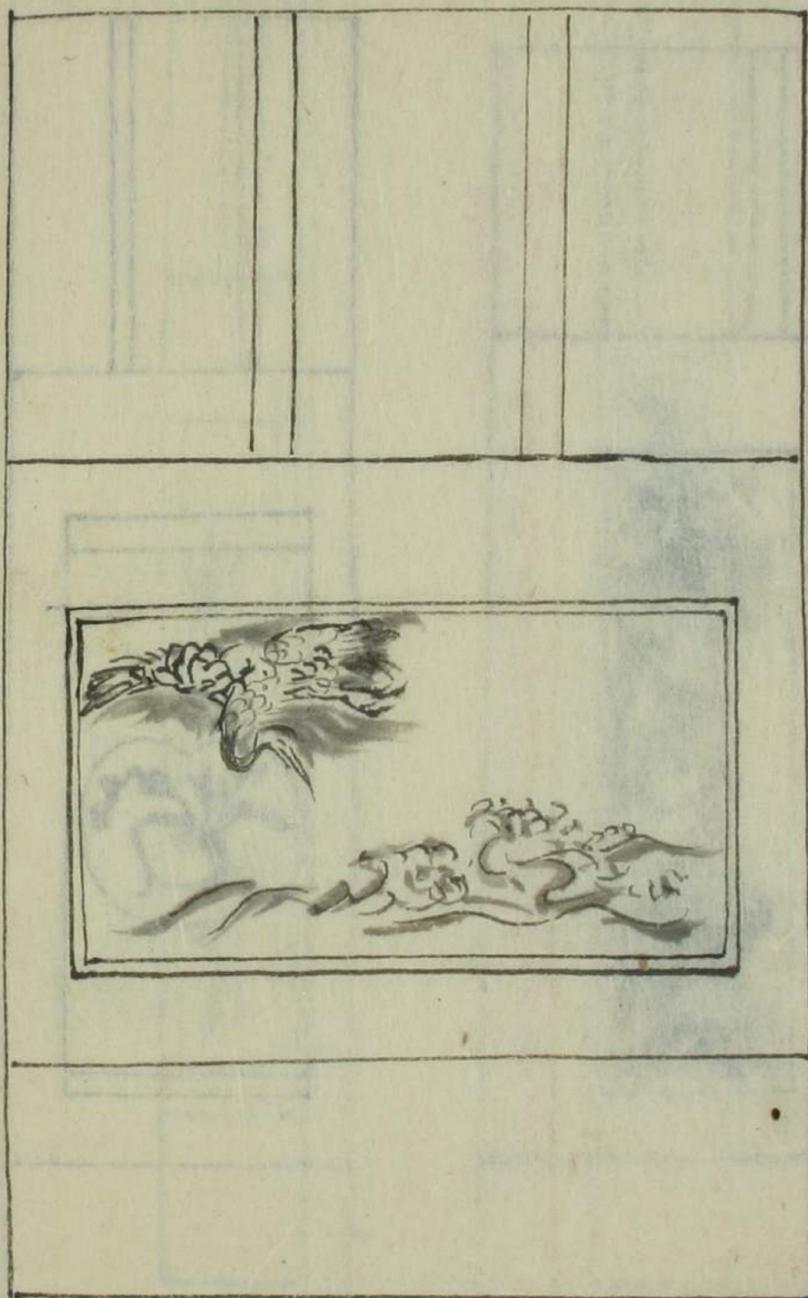
凡そ二節三毛又一節三毛ハ細毛ニテイタシク毛ニテ  
三毛ニテ凡そ



板屋にト云必補補ニイヌス之



上紙の内ニ中ニあり



紙の内ニ中ニあり

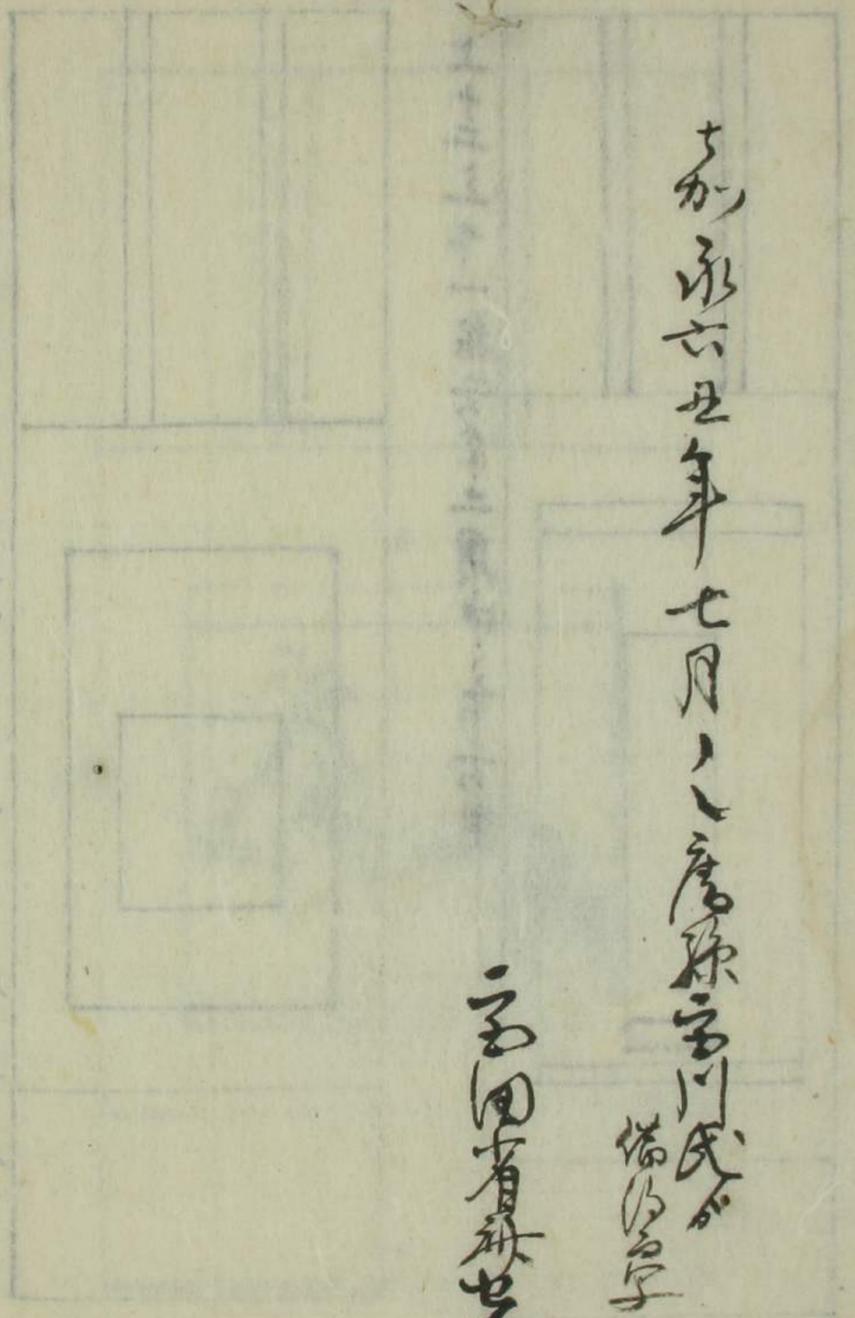


Handwritten text in red ink at the top of the right page, possibly a title or header.

嘉永六年七月八日 彦孫字川氏

信長

信長



Handwritten text in black ink on the left side of the right page, adjacent to the diagram.



Handwritten mark or character on the left page.

Handwritten text at the bottom of the left page.

